

No.	報告受理日	一般名	患者 性別	年 代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別NAT	備考
27	2007/6/28	人赤血球濃厚液-LR 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	70	腎・泌尿器系腫瘍	B型肝炎	07/02 07/02	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (07/02)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(+) HBcAb(+) (07/06) HBV-DNA(+) (07/06)	HBV-DNA(-) (07/02)	HBV-DNA(+) (07/06)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体6本に ついてHBV- NAT実施。 5本:陰性 1本:陽性	陽性となった当該輸血用血液と同一 採血番号の製剤として、1本の新鮮 凍結血漿-LRがあり、確保済み。 ウイルスの解析:患者献体と献血者 (HBV陽性保管検体)とでPreS/S領 域を含むP領域の前半部の1550bpの 塩基配列を比較したところ、1箇所に おいて相違がみられたが、それ以外 の両者の塩基配列は一致した。献血 者と患者のHBウイルスはGenotype Bで塩基配列からSubtypeはadwと推 定した。
28	2007/7/4	人血小坂濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液-LR	女	10	その他の腫瘍	B型肝炎	06/08- 07/05 06/09- 07/05	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) (06/07)	HBsAg(+) HBcAb(-) (07/06) HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBV-DNA(+) (07/06)	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (06/07)	HBsAg(-) HBV-DNA(+) (07/03) HBV-DNA(+) (07/03-06)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体63本 全てHBV- DNA(-)	
29	2007/7/4	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	消化器腫瘍	敗血症性ショック	07/06	-	院内実施の患 者血液培養に て肺炎桿菌検 出。 非溶血性副作用関連検査: ・抗血漿タンパク質抗体検査:陰 性 ・血漿タンパク質交差検査:欠損 なし 同一採血番号の血漿(2本)で細 菌培養試験を実施。 結果:肺炎桿菌検出されず。				※調査結果を受けて、担当医より「副 作用・感染症と輸血血液との因果関 係なしと考える」との見解が得られ た。	
30	2007/7/5	人血小坂濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	50	血液腫瘍	B型肝炎	06/02- 06/10	-	HBsAg(-) (06/03) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (07/06) HCV-Ab(-) (06/09) HCV-Ab(+) (07/02)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (07/06)	陽性(輸血 後)	保管検体8本全 てHBV-DNA(-)		
31	2007/7/11 2007/11/26	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	脳腫瘍	C型肝炎	06/08	HCV-Ab(-) (06/08)	HCV-Ab(-) (06/09) HCV-Ab(+) (07/02)	HCV-RNA(-) (06/08)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (07/06)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体2本全 部HCV-RNA(-)	
32	2007/7/11	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	70	血液疾患	伝染性紅斑	07/06	Hb 3.1g/dL (07/06)	Hb 6.7g/dL 網状赤血球4.2 % (07/06) Hb 4.4g/dL (07/06) Hb 4.3g/dL 網状赤血球3.1 % (07/06) Hb 3.6g/dL 網状赤血球1.4 % (07/06)	B19-DNA(-) B19Ab [IgM](-) B19Ab [IgG](+) (07/06)	保管検体5本に ついてヒトパル ボウイルスB19 関連検査実施。 保管検体4本: B19-DNA(-) B19Ab [IgM](-) B19Ab [IgG](+) 保管検体1本: B19-DNA(-) B19Ab [IgM](-) B19Ab [IgG](-)	急激なHbの低下、骨髄液中の赤芽 球の著減・巨大赤芽球出現		